

絆

赤井むつみ後援会便り第9号

2011年 1月 発行

笑顔あふれる温かい町に！



今年もよろしくお願いたします！

昨年は、本当にお世話になり、ありがとうございました。1年を振り返ってみますと、景気低迷のまま、悲しいニュースも多く、明るさや活気を感じないまま新年を迎えたように思います。皆様にとっては、どんな1年だったでしょうか？ 私は、家族そろって健康で過ごせたことに、まずは感謝しました。

さて、お一人おひとりの思いを町政に！といつも思っているのですが、皆様になかなかお伺いするチャンスがなく、大変申し訳なく思っております。

日ごろ、お困りのこと、町政への疑問やご意見など、いつでも遠慮なく、お電話・FAX・メールなどで連絡をいただけたらと思いますし、あわせて私の活動に対するご指導についても、是非、よろしくお願いたします。

昨年の議会において、私にとっては初めての町の決算審査があり、国からの交付税が少し増えたおかげで、なんとか赤字にはならなかったものの、借金は依然としてあり、八雲町は決して余裕のある財政状況ではないということが、よく分かりました。

しかし、お金がないから何も出来ないというのではなく、こういう時だからこそ、全町民で知恵を出し合い、力を合わせて、すみよいまちづくりのために、具体的なシステムが必要だと思いました。協働のまちづくりに向け、八雲町自治基本条例が出来ましたので、みんなで情報を共有して、意見が出せる場、力を発揮できる場の設定をしなければならぬと、強く感じました。

今年の干支はウサギです。ウサギに負けない脚力をつけて、大いに飛躍したいものだと思っております。皆様におかれましても、健康に留意され、明るく、充実した1年になりますよう、心からお祈りしております。

寒さが厳しいおり、くれぐれもご自愛くださいね！

第4回定例会（12月）の一般質問

『不登校の子どもたちに対する支援の充実について』

20年位前から、不登校の児童・生徒のことが話題になり始め、今では全国で約20万人もの子どもたちが、何らかの事情で学校へ行けなかったり、引きこもったりしていると推定されています。

残念ながら八雲町も例外ではなく、学校へ行っていない子どもがいます。教育に関する問題は、学校や教育委員会が主に行いますが、今の社会的な背景や現状を考えると、地域全体で支援していく必要があると思います。そこで、支援の充実を図るため、次のことを質問いたします。

- ① 不登校の児童・生徒に対し、現在八雲町では教育委員会・住民生活課・保健福祉課が研修会を開催したり、直接対応をしています。しかし、小学校で不登校になった児童が、中学校でも引き続き行けないままの状態を見ると、これからは関係機関だけではなく、学校関係者や保護者も加えた連携組織を作って対応することも必要だと思いますが、どのようにお考えですか？
- ② 昨年7月に『子ども・若者育成支援法』が制定され、今年の4月より施行されました。この法では、教育・福祉・雇用などの関連分野における施策の総合的な推進や、ニートや不登校等困難を抱える子ども・若者への支援を行うための地域ネットワーク作りの推進を図ることとしています。内閣府の検討会議では、総合的な支援を社会全体で推進するための提案もしていますが、八雲町としては具体的にどのように進めようとしていますか？

《教育長の答弁》

- ① 不登校の原因は千差万別で、対応の仕方もそのつど変わってくるので、現時点では連携を考えておらず、ケースに応じて関係機関と連絡を密にしながら対応していきたいと思っています。

《町長の答弁》

- ② これは不登校だけではなく、就職までも含まれているので、広範囲になります。ですから、ひとつの窓口ではなく、関係する全ての課で対応できるよう準備をしている最中です。最終的には、住民生活課が窓口になるかもしれませんが、今は、全体で対応できるように、いろいろ検討しています。



「子どもは地域の宝物です。みんなで大切に育てていきたいですね！」

主な活動 アレコレ!

10月から12月は、講演会が多く、学習中心となりました。そんな中で講師、参加者とのつながりが深まり、今後の町づくりに大いに生かせそうです。

- ☆ 10月13日(水)「ひきこもり・不登校」に関する講演会
- ☆ 10月16日(土) 三井マリ子さんの講演会
「ノルウェーの福祉に学ぶ」
- ☆ 10月18日(月) 障がい者の就労についての講演会
- ☆ 10月19日(火) 1年目議員4名で、1年間を振り返り、議員としてのあり方について、議会事務局長の講話をいただく。
- ☆ 10月20日(水) 『お箸』の由来と意義について学び、折れたバットから実際にマイ箸を作る。(講師～福井県の山口ちとせさん)
- ☆ 10月21日(木) 平和フォーラム。8月に広島で行われた原水爆禁止世界大会に参加した方からの報告(高校生も参加)
- ☆ 10月31日(日) 子育てひろばセミナー(札幌市) 障がい児について学び、帰りに、永年にわたって民間で子育て支援活動に取り組む「むくどりホーム」の見学。
- ☆ 11月 6日(土) 『薬膳』について講演会(講師～酪農学園・安川先生)
- ☆ 11月 8日(月) 子ども発達支援事業研修会(函館市 渡島合同庁舎)
- ☆ 11月13日(日) 自閉症セミナー(北斗市)
- ☆ 11月19日(金) 保育サービス講演会「障がいのある子どもの受入」
- ☆ 11月24日(月) 発達障がいについて「ほめカードの実践」(北斗市)
- ☆ 11月28日(日) 子どもの権利条約について講演会(函館市)
- ☆ 11月28日(日) 映画『恋するトマト』&大地康夫さん・小檜山博さんと交流会
- ☆ 12月 2日(木) 障がい者の福祉を通し『人権』を考える講演会(講師は、毎日新聞社・論説委員の野澤和弘氏)
- ☆ 12月 3日(金) 中学校における野澤和弘氏の講演会
- ☆ 12月23日(木) 小学生とともに、一人暮らしの高齢者の方へ、クリスマスカードをプレゼント。



ささだ浩 後援会に加入を！

岡田道議が引退を表明され、誰が引き継ぐのか心配されていましたが、町職員（保健福祉課・課長補佐）だった笹田浩さんが、立起することになりました。

岡田道議は、とても謙虚な方ですから、御自身の業績をあれこれと話さないもので、私たち町民には活躍されていることが直接伝わらないこともあります。八雲町にとっては、無くてはならない大きな存在です。その後を引き継ぐ方も、是非、八雲町からということで、退職まであと10年もあるのにもかかわらず、笹田氏が、大きな決断、勇気ある決断をされました。

昨年末の12月26日に事務所開きが行われ、八雲町のためにも党派を超えて『オール八雲』で支援していこうという動きになっています。

是非、町内はもちろんですが、長万部・森・鹿部・七飯・木古内・知内・福島・松前にお知り合いの方がいらっしゃいましたら『ささだ浩後援会』にご入会いただくよう勧めただけだと思います。後援会ご入会検討資料や加入者紹介カードなど、必要なものがありましたら、ご連絡をお願い致します！

議会について

八雲町の議員定数は20名、議員報酬は月額183,300円です。人口から見ると定数は多いのではという意見もありますし、報酬についても高いのか普通なのかと聞かれると、ほとんどの方は『高い』と答えると思います。

定数・報酬、いずれにしても、私たち議員が、それに見合った仕事をしていない、していても町民の皆さんにきちんと伝えていないことが大きな原因だと思います。報酬については、『日当制』にしている議会もあります。

皆様とともに、議員のあり方、定数、報酬について考え、より町民の声を反映できる議会にしていきたいと思っています。ご意見を是非、お寄せください！

赤井むつみ後援会 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090 (赤井)

メールアドレス yuurappu@khaki.plala.or.jp

自宅住所=栄町56-12